

平成27年11月30日

各 学 校 長 様
支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会
会 長 今 川 恵美子
(池田市立石橋小学校校長)

冬 季 研 修 会 の ご 案 内 (二次案内)

締め切り期間延長のため再送

晩秋の候、先生方もご活躍のことと存じます。

9月に一次案内を出しました大阪府支援教育研修会研修部主催による冬季研修会を以下の要項で実施いたします。ふるってご参加いただきますようお願いいたします。

記

① 日 時 平成28年(2016年) 1月30日(土)
午前9時40分～11時40分 (9時20分 受付開始)

② 場 所 たかつガーデン 大阪市天王寺区東高津町7-11
近鉄 大阪上本町駅 北東 約 200m
地下鉄 谷町九丁目駅 東北東 約 500m
JR環状線 鶴橋駅 西 約 900m

申し込み締め切りの後、当日の各講座の会場配置を
大支援研のwebサイトでお知らせする予定です。

③ 内 容 4つの講座を行います。内容は別紙をご参照ください。
定員を35～70名と少人数に設定して、参加される方の意見交換や活動が
積極的に行えることを期待しています。

A 合理的配慮について

～教室環境整備とユニバーサルデザイン授業について考える～

後上 鐵夫氏 (大阪体育大学教授)

B SSW視点・法的視点からの生活指導・支援と保護者対応

～愛情保障と発達保障のためのアセスメント・プランニングのポイント～

峯本 耕治氏 (弁護士、府教委SSW事業スーパーバイザー)

C **ビジョントレーニング ～アセスメントと効果的な指導法～**

北出 勝也氏（視機能トレーニングセンターJoy Vision代表、米国オプトメトリスト）
井阪 幸恵氏（和泉市立国府小学校）

D 研究部担当 各地区からの実践報告

通級指導教室での読み書きに困難を抱える児童の支援

赤瀬 瞳氏（富田林市立富田林小学校）
土井三和子氏（富田林市立川西小学校）

- ④ 申し込み期間 **平成27年12月14日（月）**
～ 28年 1月15日（金） 25日（月）

ただし、各講座、会場の定員に達し次第、受付を締め切ります。
必ず事前の申し込みをお願いします。

- ⑤ 申し込み方法 **大支援研のHPから、申し込みをお願いします。**

「大支援研」で、検索してください。

<http://daishienken.visithp.com>

氏名、所属校、参加希望講座、連絡先を必ず明記してください。

☆ HPから申し込みされたら数日以内に、申し込みされたアドレスに返信メールを送信します。まだ定員に達しておらず参加いただくことが可能でしたら、「参加確定メール」をお送りします。もし、定員超過の場合等、ご希望に添えない場合には、「お断り」のメールをお送りします。

連絡は、申し込みされたアドレスに送らせていただきますので、返信メールの受信が可能かどうか、ご確認ください。学校のPCや携帯・スマホなどから申し込まれた場合に、返信メールが届かない事例がありました。

返信メール以外での連絡をご希望される場合、「通信欄」に勤務先またはご自宅の連絡先（メールアドレス、電話またはFAX番号 など）をご記入ください。

☆ もし、申し込み後、1週間以上、連絡がない場合には、
申し訳ありませんが、お問い合わせください。

- ⑥ 問い合わせ先 大阪府支援教育研究会 書記（研修部担当） 佐藤正幸

摂津市立第四中学校 **FAX 06-6349-6184**

または、大支援研のHPから、お問い合わせください

大阪府支援教育研究会 2015年度冬季研修会

講座の内容

☆ それぞれの講座内容についての具体的な質問や、講師の方に相談されたい事例がありましたら、お申し込みの際に、「通信欄」にご記入ください。

なお、具体的な事例について書かれる場合には個人情報にご配慮ください。

A 合理的配慮について

～教室環境整備とユニバーサルデザイン授業について考える～

後上 鐵夫氏（大阪体育大学教授）

平成28年4月より「障害者差別解消法」が施行されます。この法律が作られてきた時代背景や国際世論の動向を理解しながら、いま、教育において差別解消を目的とした合理的配慮とはどうすることか。担任としてなさねばならないことは何か。学校として校内支援体制構築等準備しておくべきことは何かを考える内容とします。

そして、教室環境整備とユニバーサルデザイン授業について考えていきます。

B SSW視点・法的視点からの生徒指導・支援と保護者対応

～愛情保障と発達保障のためのアセスメント、プランニングのポイント～

峯本 耕治氏（弁護士、府教委SSW事業スーパーバイザー）

問題行動等、子どもの抱える課題への対応のためには、理由・原因の見立て(アセスメント)と、それを踏まえた合理的なプラン・作戦作り(プランニング)が不可欠です。

さまざまな課題を「愛着・不安課題」と「発達課題」の表現として見た上で具体的内容についてアセスメントする。そして具体的にどう対応していくか、愛情保障と発達保障を具体的にどのように行うかという発想・視点でプランニングすることが必要です。

事例をもとに、子どもたちをどのように支援していくか、保護者への対応・支援において大切なこと等について、SSW視点・法的視点から考えていきます。

C **ビジョントレーニング ～アセスメントと効果的な指導法～**

北出 勝也氏（視機能トレーニングセンターJoy Vision 代表、米国オプトメトリスト）

井阪 幸恵氏（和泉市立国府小学校）

ビジョントレーニングとは視覚(入力)、視空間認知、目と体の協応(出力)までの視覚機能を鍛えるものです。100年以上の歴史があり、ビジョントレーニングは50年ほど前にオプトメトリストによって始められました。オプトメトリストは日本ではまだ公的に認められていませんが、海外の多くの国々では高度の専門職となっており、この視覚機能のスペシャリストと言えます。今回は、視覚機能とはどういうものであるのか、現在の子どもたちの実態とビジョントレーニングの必要性、具体的なアセスメントのいろいろをお伝えします。また、アセスメントに基づいたビジョントレーニングを、実際に皆さんにも体験いただき、その楽しさについても知っていただきたいです。

さらに、このビジョントレーニングをどのように学校現場でどう取り組んでいくのかについてお話しします。学校でできるアセスメントと効果的な指導法をお伝えすることで、皆さんの実践につながることを願っています。

D **研究部担当 各地区からの実践報告**

通級指導教室での読み書きに困難を抱える児童の支援

赤瀬 瞳氏（富田林市立富田林小学校）

土井三和子氏（富田林市立川西小学校）

通常学級でコツコツと自分なりに努力をしているにも関わらず、学習の習得が積み上がって行かなくて自尊感情が下がって行く子どもたちがいます。本人も保護者もなぜだろうと悩んでいることが多いです。その原因として、読み書きに大きな課題のある場合があります。そういう子どもたちに DAISY 教科書を活用した実践報告です。

- ・児童の実態把握(心理検査等)を踏まえた、読み書きに課題のある子どもと DAISY 教科書の活用の実践報告
- ・DAISY 化した社会科 3・4 年副読本「わたしたちの富田林」「わたしたちの暮らし」について DAISY 活用化した経過や活用状況などの実践報告
- ・通級指導教室担当者がリーディングチームのメンバー(専門家チーム)として行っている市内の小中学校の巡回相談、夏季研修会実施などの実践報告